

昨年度から毎週水曜日、年長クラスを中心に担当させてもらっています。今年度はじめからは、材料・道具を多種多様に揃えて、何を使っても、何を作っても良いという「フリースタイル創作」に取り組んでいます。やり方はまず材料・道具を机の上に並べ、出来るだけ時間を掛けてそれぞれの説明をします。危険な道具などは特に、何がどう危険なのか。材料も本来はどのような用途で使われるものなのか。事細かに説明をすることで、より興味を持って取り組めるように思います。また、道具は取って人数分用意はしません。使っていないときは元の位置に戻したり、他の人が使っていたら、使い終わるまで待つといった習慣づけも心がけています。そうして回を重ねるごとに新しい材料や、難易度の高い道具を増やしていきます。これまでの3カ月、こどもたちの自由に何かを作りたいという欲求は枯れることがなく、回を重ねるごとに技術力・発想力ともに養われてきているように見受けられます。創作時間中の私の役割として、こどもたちそれぞれが技術的にできないこと（カッターナイフ・ホットボンドなど）を手助けすることに徹底するようにしています。このフリースタイルは表現活動における基礎体力づくりであると考えています。そして、自由な表現ができることで、上手い・下手ではない世界でこどもたちが互いを認め合い、だれもが自信を持てる環境になっていくと考えます。また、これまで数度、発表会の時間を設けましたが、こどもたちは自分に作品について一所懸命伝えようとし、また、受け取ろうという真剣な姿がみられます。作品をコミュニケーションツールとして楽しく活用しているようにも思いました。

